

鹿県身障

かんぎ
成宜

発行所

社会福祉法人
鹿 児 島 県
身体障害者福祉協会鹿児島市小野一丁目1-1
ハートピアかごしま3階
電話099-228-6271発行人 藤田 満
かんぎ 第166号

障害者社会参加推進センター

令和7年度県への要望書提出

鹿児島県障害者社会参加推進センターでは、障害の有無にかかわらず誰もが家庭や地域で暮らせる社会の実現に向け、障害者の地域における自立と社会参加の推進に取り組んでいます。

センターの運営及び事業の企画調整を担う社会参加推進協議会には、身体、知的、精神、3種の障害者部会が設置されており、各障害を有する方の自立と社会参加に必要な取組について意見を交換・共有しているところですが、このたび、特に身体障害者部会における行政への期待を下記のとおり取りまとめ、去る8月28日に、県へ要望書を提出いたしました。

【要望内容】

1 視覚障害者用拡大読書器の給付基準額見直しについて

情報量が増大し、対応にもスピードが求められている中、紙面情報の文字の拡大や音声による読み上げを行う視覚障害者用拡大読書器は、視覚障害者の社会生活を支える重要な機器となっている。

しかしながら、拡大読書器の価格が物価高騰に伴い上昇しているにもかかわらず日常生活用具給付事業における基準額が30年間変わっていないため、視覚

障害者の経済的な負担が重く、申請を行う上でも障害となっていない。

日常生活用具給付事業の実施主体である市町村が基準額の見直しを行っていない理由として、「基準額を決定する際に判断基準となるものが少なく、基準額が妥当なものであるかの判断が難しい」、「他市町村の状況等がわからず適当な見直しができない」との情報もあることから、県において、拡大読書器をはじめとする視覚障害者用福祉機器についての説明会等の実施をお願いしたい。

2 無料公衆無線LAN

(Wi-Fi) 環境の整備促進

ICTの急速な進歩と全国的なデジタル化の流れを背景として、各種携帯端末の普及とともに、搭載可能な音声読み上げや画面拡大機能等を備えた障害者向け支援アプリも充実。今や視覚障害者にとり、スマートフォン等の使用は、情報の取得やコミュニケーションのため欠かせない貴重な手段となっている。

自治体における無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境は、官民連携の下、着実に整いつつあるが、その多くは観光振興と防災対策を目的とした観光拠点、商業施設、防災拠点等における整備であり、障害者の視点に立つにはまだ至っていない現状にある。

自立と社会参加を願う、デジタル機器に多くを頼らざるを得ない障害者のため、また、障害による情報格差を生じないよう、

例えばハートピアかごしまなど、多くの障害者が頻繁に集う施設への無料Wi-Fi整備を切にお願いしたい。

3 パーキングパーミット制度における車椅子常時利用者への配慮

(1) 利用証交付基準(交付を受けられる者)の不拡大

パーキングパーミット利用対象者の範囲を広げてきた結果、車椅子常時利用者など真に必要な障害者が、対象区画に駐車できないといった問題が生じている。

先区画を専用区画とし、その上で増設をお願いしたい。併せて、利用証の新規交付や更新その他の機会に、制度利用者自身へのルール周知に努めていただきたい。

4 災害避難所におけるオストメイトルーム

障害者トイレ内のオストメイト対応設備については、バリアフリー関連法の施行等に伴い、公共施設、大規模商業施設、交通機関等を中心に多くの施設で整備されてきた。

本県には、およそ3千人のオストメイト(病気や障害により人工肛門・膀胱をお腹に取り付けている人たち)がおり、近年全国的に頻発する災害時の対応、特に避難生活に大きな不安を有するため、災害避難所における器具交換スペースなどの備え、オストメイト対応に十分配慮いただき、市町村への呼びかけ、現状の把握、データの公表に努めていただきたい。

(2) 車椅子利用者専用区画の設置

自身が運転者である車椅子常時利用者(赤色の利用証)用に、優先区画は一定程度設けられているが、その存在や意味を他の利用証所持者が理解しておらずほとんど機能していない現状にある。

抜本的改善のため制度発足本来の趣旨に立ち返り、現在の優



左: 県保健福祉部 伊地知芳浩 部長
右: 県身体障害者福祉協会 藤田満 会長

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金の配分金を充当させていただいています。

令和7年度 資金収支予算（法人全体）

（単位：円）

勘 定 科 目		6年度予算額	7年度予算額	増 減
事業活動による収支	収入			
	会費収入	720,000	720,000	0
	経常経費寄付金収入	50,000	50,000	0
	経常経費補助金収入	27,277,000	28,127,000	850,000
	受託金収入	169,732,000	170,777,000	1,045,000
	事業収入	19,646,000	16,146,000	-3,500,000
	受取利息配当金収入	25,000	25,000	0
	事業活動収入計（1）	217,450,000	215,845,000	-1,605,000
	支出			
	人件費支出	139,628,000	143,677,000	4,049,000
施設整備等による収支	事業費支出	66,796,000	64,527,000	-2,269,000
	事務費支出	1,871,000	1,760,000	-111,000
	助成金支出	3,752,000	3,748,000	-4,000
	負担金支出	30,000	30,000	0
	事業活動支出計（2）	212,077,000	213,742,000	1,665,000
	事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	5,373,000	2,103,000	-3,270,000
	収入			
	施設整備等収入計（4）	0	0	0
	支出			
	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,594,000	3,739,000	145,000
その他の活動による収支	施設整備等支出計（5）	3,594,000	3,739,000	145,000
	施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	-3,594,000	-3,739,000	-145,000
	収入			
	設備整備等積立資産償還収入	0	4,000,000	4,000,000
	拠点区分間繰入金収入	3,081,000	3,114,000	33,000
	サービス区分間繰入金収入	2,370,000	2,370,000	0
	その他の活動収入計（7）	5,451,000	9,484,000	4,033,000
	支出			
	積立資産支出	2,011,000	2,072,000	61,000
	拠点区分間繰入金支出	3,081,000	3,114,000	33,000
その他の活動による収支	サービス区分間繰入金支出	2,370,000	2,370,000	0
	その他の活動支出計（8）	7,462,000	7,556,000	94,000
	その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	-2,011,000	1,928,000	3,939,000
	予備費支出（10）	100,000	100,000	0
	当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	-332,000	192,000	524,000
	前期末支払資金残高（12）	26,342,271	26,598,109	255,838
	当期末支払資金残高（11）+（12）	26,010,271	26,790,109	779,838

令和6年度 収支決算書（法人全体）

（単位：円）

勘 定 科 目		予算（A）	決算（B）	差異（A）-（B）
事業活動による収支	収入			
	会費収入	720,000	640,000	80,000
	経常経費寄付金収入	50,000	86,845	-36,845
	経常経費補助金収入	27,277,000	27,277,000	0
	受託金収入	168,005,000	164,203,094	3,801,906
	事業収入	19,461,000	19,295,142	165,858
	受取利息配当金収入	25,000	87,118	-62,118
	その他の収入	32,000	32,000	0
	事業活動収入計（1）	215,570,000	211,621,199	3,948,801
	支出			
施設整備等による収支	人件費支出	138,492,000	137,387,127	1,104,873
	事業費支出	61,865,000	59,304,142	2,560,858
	事務費支出	1,931,000	1,436,021	494,979
	助成金支出	3,792,000	3,708,000	84,000
	負担金支出	30,000	29,000	1,000
	事業活動支出計（2）	206,110,000	201,864,290	4,245,710
	事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）	9,460,000	9,756,909	-296,909
	収入			
	施設整備等収入計（4）	0	0	0
	支出			
その他の活動による収支	固定資産取得支出	928,000	1,444,300	-516,300
	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,594,000	3,593,040	960
	施設整備等支出計（5）	4,522,000	5,037,340	-515,340
	施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）	-4,522,000	-5,037,340	515,340
	収入			
	設備整備等積立資産償還収入	3,000,000	3,000,000	0
	その他の活動収入計（7）	3,000,000	3,000,000	0
	支出			
	積立資産支出	7,838,000	7,820,700	17,300
	その他の活動支出計（8）	7,838,000	7,820,700	17,300
その他の活動による収支	その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）	-4,838,000	-4,820,700	-17,300
	予備費支出（10）	100,000	—	100,000
	当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）	0	-101,131	101,131
	前期末支払資金残高（12）	32,878,166	32,878,166	0
	当期末支払資金残高（11）+（12）	32,878,166	32,777,035	101,131

第19回県障害者スポーツ大会 滋賀大会に挑む40選手 を選出

団体3チームが九州予選制す
全国大会予選を兼ねた県障害者スポーツ大会が、5月18日と25日の2日間、白波スタジアムをメイン会場に開催されました。今年度から水泳とフライングデイスクが会場を変更。それぞれ鴨池公園水泳プール、県立鴨池補助競技場で競技が行われました。また、会場分散で選手の参加が少なかった閉会式は、今回から廃止です。

心配された雨の影響を受けず無事大会は開会。熱のこもった競技が展開されました。陸上競技や水泳では大会新記録や、全国大会記録を上回る場面が見られるなど、充実の内容で大会は閉幕。大会企画委員会を経て10月滋賀県である第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」の個人競技代表選手40名が決定しました。

団体競技では、4月～6月に種目別で行われた九州ブロック予選を本県の3チームが制覇。初の栄冠を勝ち取った身体（聴覚）障害バレーボール男子のほか、知的障害バレーボール女子、サッカーが九州代表として滋賀県で戦います。

第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」鹿児島県選手団 選手一覧

競技	氏 名	性別	障害区分
陸上競技	永井湧育	男	視覚
	荒平楓	男	肢体
	平山隆宏	男	聴覚
	半田壘	男	肢体
	木元俊恵	女	視覚
	山口乃愛	女	視覚
	濱口良子	女	聴覚
	中島冬矢	男	知的
	鬼塚康紀	男	知的
	宮之原誓弥	男	知的
	久木留清	男	知的
	神田弘	男	知的
	嶋原瑠華	女	知的
	今村絢香	女	知的
	松本紗代子	女	知的
水泳	川井田翼	男	聴覚
	芝崎楽	女	肢体
	満千恵	女	聴覚
	有馬恵美	女	知的
	竹下楓	女	知的
アーチェリー	満武久	男	肢体
卓球	小串良一	男	肢体
	大田勉	男	肢体
	東俊彦	男	視覚
	請園慶太	男	知的
	永山綾乃	女	知的
	小島武	男	精神
	中村久子	女	精神

競技	氏 名	性別	障害区分
フライングディスク	脇田陽一郎	男	肢体
	山下浩一	男	聴覚
	野元毅	男	聴覚
	安藤健琉	男	知的
	星原良弥	男	知的
	大平勝也	男	知的
	小森南来	女	知的
	川邊陽由	女	肢体
	宮田結菜	女	肢体
	ボッチャ		
ボウリング	大垣翼空	男	知的
	永留晃裕	男	知的
	是枝和美	男	知的
	敷根美保	女	知的
	村岡智恵	女	知的
	中村遥香	女	知的
	高妻梨帆	女	知的
	森千紗	女	知的
	幸由乃	女	知的
	松下千尋	女	知的
知的バレーボール女子	平島瑠華	女	知的
	山下まゆみ	女	知的
	中間由香	女	知的
	田底佳樹	男	聴覚
	新倉政亮	男	聴覚
	永森正太郎	男	聴覚
	北之園雄大	男	聴覚
	小園虎雅	男	聴覚
	益満陽祐	男	聴覚
	身体（聴覚）バレーボール		

競技	氏 名	性別	障害区分
身体（聴覚）バレーボール	徳田瞬	男	聴覚
	住喜敦	男	聴覚
	小園頼樹	男	聴覚
	宮野勇樹	男	聴覚
サッカー	原田康汰	男	知的
	小原大空	男	知的
	大野航	男	知的
	宮崎瞬希	男	知的
	小才天太	男	知的
	林晃暉	男	知的
	福原碧人	男	知的
	下鶴日楽	男	知的
	海老原蓮	男	知的
	下鶴掛夢	男	知的
	中山迦斗	男	知的
	田川翔	男	知的
	笹原有世	男	知的
	坂本絆	男	知的
	茨木悠晴	男	知的
	小野倅輝	男	知的

R7.8.31 現在

第19回鹿児島県身体障害者ゴルフ大会

第19回鹿児島県身体障害者ゴルフ大会が5月30日に鹿児島ふれあいスポーツランド屋内運動場にて開催されました。

グラウンド・ゴルフは、1コースを約1時間かけて歩いて回るため、健康的な体力づくりが無理なくでき、誰でも楽しめるスポーツとして人気があります。

11月に大分県で開催される九州大会の予選会である本大会には、21チーム101名が参加し出場枠を競いました。

競技中、鹿児島市グラウンド・ゴルフ協会の皆さまにサポートいただき、参加者からは「初心者の方でも楽しくプレーすることができた」という感想が聞かれました。



「集中！狙いを定めて」

団体の部優勝は、昨年度準優勝だった国分Bチームが制し、

知名町が2位、錦江町が3位と続きました。個人の部では、堀

切裕之さん（国分Bチーム）が優勝。2位・3位は同スコアで

並び、内容により2位に福忠志

さん（知名町）、3位に太直造

さん（知名町）が入賞しました。

九州大会は、令和7年11月28

日、大分県別府市の野口原総合

運動場で行われます。

出場される皆さん、頑張つて

ください。



優勝した「国分Bチーム」

新役員・評議員の紹介

○役員（理事・監事）
（任期：令和8年度会計に関する定時評議員会まで）

役 職	氏 名
会 長	藤 田 満子
会 副	黒 木 恵
理 事	田 中 勉代
理 事	大 久 保 正
理 事	財 部 工
理 事	前 田 究
常 務 理 事	新 村 久美子
監 事	稲 田 明弘
監 事	宮 川 博次

○評議員（任期：令和10年度会計に関する定時評議員会まで）

役 職	氏 名
評 議 員	川 畑 正 夫
評 議 員	中 釜 寿 代
評 議 員	和 岩 郁 夫
評 議 員	愛 場 田 正 人
評 議 員	前 寺 田 九 州
評 議 員	信 島 良 章
評 議 員	武 元 光 廣
評 議 員	寿 三 隆 男
評 議 員	石 福 澤 之
評 議 員	鮫 島 義 久
評 議 員	入 来 院 望

第54回九州身体障害者福祉大会・第32回九州ブロック身体障害者相談員研修会（北九州大会）のお知らせ

次の日程で開催されます。たくさんの方のご参加をお願いいたします。

期 日 令和8年1月22日（木）

23日（金）

場 所 北九州国際会議場

申 込 先 県身体障害者福祉協会

099・228・6271

ユニバーサルシネマ会開催

3月18日、鹿児島市内の特別支援学校に通う小・中学生とその家族を対象に、第2回ユニバーサルシネマ会を鹿児島ミッテ10で行いました。各校への周知の結果、昨年を上回る150人以上が応募し、多くの来場がありました。

上映作品は「映画ドラえもん

のび太の絵世界物語」。字幕付きで、館内は明るめ、音量も控えめに設定しました。

参加者からは「出入り自由で助かった」「初めて映画館で観られて嬉しい」「毎年やってほしい」などの声が寄せられました。

平日夕方の開催でしたが、子どもたちやご家族の笑顔が印象的でした。

令和7年度行事予定

・第18回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

11月27日（木）28日（金）

大分県

・県障害者保健福祉大会

11月6日（木）

・カクイックス交流センター

・「あったか交流フェスタ」

12月7日（日）

・ハートピアかごしま

・県身体障害者相談員研修会
12月10日（水）

・指宿市なのはな館

・第54回九州身体障害者福祉大会

会

・第32回九州ブロック身体障害者

相談員研修会

1月22日（木）23日（金）

北九州市

表彰

令和7年度日身連会長表彰

松 原 要 氏

この度、松原 要氏（元いき串木野市身体障害者協会会長）が、長年にわたり身体障害者の福祉の向上に尽力された功績を称えられ、日身連会長表彰を受賞されました。

心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。



藤田会長 松原 要氏